

# 第七管区海上保安本部



## 定例記者懇談会

令和3年7月29日

### — プレスリリース —

(1) 今夏の海難の発生状況（説明者：交通部長）



(2) 夏季テロ警戒について（説明者：警備救難部長）

(3) 海の日表彰について（説明者：総務部長）







【問合せ先】

第七管区海上保安本部  
交通部 安全対策課  
課長 浦川 和久  
TEL 093-321-2931(内線2640)

令和3年7月29日  
第七管区海上保安本部

## 夏休み最初の連休に事故多発！

～海の事故ゼロキャンペーン期間中における海難の発生状況について（中間報告）～

令和3年7月16日（金）～7月31日（土）までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに海難防止思想の普及、高揚を図るため、官民一体となって「海の事故ゼロキャンペーン」を推進しています。

7月27日（火）現在、第七管区海上保安本部管内における海の事故ゼロキャンペーン期間中の船舶海難は11隻、人身海難は14人です。

### 1 海難発生状況

海の事故ゼロキャンペーン期間中における船舶海難は11隻（このうち福岡県内では5隻発生、全体では昨年比3隻減）、人身海難14人（このうち福岡県内では3人発生、全体では昨年比1人減）です。

船舶海難11隻のうち、プレジャーボートによる海難が6隻（うちミニボートによる海難が3隻）、漁船による海難が2隻発生しており、プレジャーボートによる海難を種類別にみると乗揚が2隻、運航不能が2隻、衝突が1隻、浸水が1隻です。

人身海難14人の内訳は、マリンレジャーに伴う海浜事故が10人、マリンレジャー以外の海浜事故が3人、船舶海難によらない乗船者の人身事故が1人です。

マリンレジャーに伴う海浜事故について遊泳中が8人、スタンドアップパドルボード中が1人、水上オートバイ中が1人です。（※人身海難は自殺・病気を除く）

また、上記の海難の中には、夏休み最初の連休期間中（7月22日～25日）に強風の影響により発生したミニボート（1隻）が浸水し航行不能になった事案、海水浴場等で遊泳者が沖に流された事案（3件6人）、スタンドアップパドルボード中の1人が沖合に流され陸岸に戻れなくなった事案が含まれています。

※ 令和3年7月16日～27日の第七管区海上保安部管内で発生した海難・人身事故の県別集計表は、末尾参考資料をご覧ください。

※ 昨年比の昨年データは令和2年7月16日～31日の発生数です。

## 2 海の事故ゼロキャンペーン期間中の事故事例

### 【船舶海難】

#### 乗揚げ事故

#### ～花火大会観覧後に定置網に乗揚げ～



令和3年7月17日（土）1830頃、船長（男性、65歳）は、事故船舶クルーザーヨットM号（全長8.62m、4名乗船）に乗船、唐津港で行われる花火大会の観覧目的で定係地の湊浜漁港を出港し、同日1900頃、佐賀県唐津市高島北方海域に到着した。

その後、同海域にて2010頃まで花火を観覧した後、定係地に向けて航行中の同日2040頃、同海域に設置された定置網を認識していたものの夜間航行に不慣れな事もあり、定置網に接近しすぎた結果、乗揚げ航行不能となったもの。

乗揚げ後、乗船者4名は巡視艇により救助され、事故船舶は、翌18日に定置網を管理する漁協所属船2隻により引き出された。

※夜間は昼間と比べて、周囲の見通しや自船の位置関係を把握することが困難となります。夜間に航行する際は、航行する海域の定置網等の海上構造物の位置を事前に把握しておくとともに、レーダー等の航海計器を活用して航行することが大切です。

#### 浸水事故

#### ～強風の影響により浸水～

令和3年7月24日（土）0800頃、船長（男性、45歳）は同乗者1名と事故船舶ミニボートに乗船、魚釣りの目的で福岡県遠賀郡の夏井ヶ浜を出港し、同日0830頃、夏井ヶ浜北方海域の漁場で流し釣りを開始した。

同日0930頃、海上模様が急変し、風、波が強くなり、船内に海水が打ち込み始めた事から、これ以上釣りは出来ないと判断、出港地に戻ることにした。

航行中も海水の船内への打ち込みは止まらず、早く岸に戻ろうと速力を増速したところ、船体はバランスを崩し船首が大きく浮き上がり、船尾のエンジンが海水に浸かり機関が停止し、同日1005頃、身動きが取れなくなったもの。

事故船舶及び乗船者2名は、同日1055頃、福岡県遠賀郡岩屋沖を巡回中の警察艇により救助された。



※気象海象を事前に把握することは勿論のことですが、現場に着いた後も海上模様を確認し、レジャー活動中に海上模様について不安を感じた場合は、早期に取り止める判断も大切です。

## 【人身海難】

### 溺水事故

#### ～海水浴場での遊泳事故～



令和3年7月23日（金）1030頃、事故者（男性、17歳）は、高校の友人6名とともに福岡県糸島市の芥屋海水浴場（管理された海水浴場以外のもの。）に訪れ、遊泳を開始した。

同日1050頃、事故者は友人とともに沖合向け遊泳中、深みにはまり溺れてしまい、一端、友人のみで救助を試みたが、事故者が海中に沈んでしまったため、周囲に救助を求めたところ、近くを遊泳していた元ライフセーバーの女性に救助されもの。

その後、事故者は、救急隊に引継がれ、ドクターヘリで病院に搬送された。命に別状はなし。

### 帰還不能事故

#### ～風に流され帰還不能～

令和3年7月25日（日）1330頃、事故者（男性、29歳）は、10人のグループで北九州市若松区の岩屋海水浴場（開設された海水浴場）に訪れ、遊泳を開始した。

同日1720頃、事故者は浮き輪（直径約1メートル）を持ち、友人2名（浮き輪なし）と海に入り、泳いでいたところ、陸側から沖に向かって吹く風に押され、沖へと流されていった。事故者は手足を使い陸へ戻ろうとするも、風に押され、沖へ流され、砂浜からも友人2名からも離されたもの。

この様子を砂浜から見ていた友人が、同日1735頃、警察に通報し救助を求め、水難救済会所属船により救助された。事故者に怪我等はなし。



※開設されていない海水浴場等では、監視員不在による発見の遅延により、救助機関への通報が遅くなる可能性があります。

ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で泳ぐこと、子供だけや1人で泳ぎにいかないこと、天気が悪い時や海が荒れているときは泳がないこと、沖に流されないように注意することが重要です。



### 3 海の事故ゼロキャンペーン期間中の活動（7月27日（火）現在）

海の事故ゼロキャンペーン期間中における第七管区海上保安本部管内の啓発活動は以下の通りです。

- 関係機関との合同パトロール 4件
- 海の安全教室 8件
- 一日海上保安官による啓発活動 2件
- FMラジオ等を通じた啓発活動 3件

その他、巡視船艇によるプレジャーボート等小型船舶の船長に対する安全指導や海事関係機関等に対するポスターの掲示依頼・リーフレットの配布など海の事故防止について啓発活動を行っています。

参考：各種行事等の実施状況



関係機関との合同パトロール（福岡、唐津）



一日海上保安官による啓発活動（杵岐）



海の安全教室（対馬）



FMラジオを通じた啓発活動（門司）

なお、今後実施予定の行事等は次のとおりです。

- ① 令和3年7月31日（土）1300～ 福岡県遠賀郡芦屋町芦屋海水浴場 付近  
「若松海上保安部とPW安全協会との合同パトロール」  
問い合わせ先：若松海上保安部 航行安全課 電話093-761-4200

※PW安全協会とは：PWC（パーソナル・ウォーター・クラフト：水上オートバイ）の安全操縦に関する啓発活動を推進するとともにマナー・モラルの向上を図り、健全なるパーソナルウォータークラフトスポーツの普及・発展を目指している団体

② 令和3年8月1日（日）1000～ 山口県下関市豊北町 土井ヶ浜海水浴場他  
「官民合同パトロール」

問い合わせ先：門司海上保安部 航行安全課 電話093-321-0398

※参加関係機関等：NPO法人PW安全協会中国地方本部山口支部、(社)九州北部小型船安全協会日本小型船舶検査機構下関支部、小串警察署、豊浦西消防署豊北出張所、門司海上保安部

#### 4. 海難防止のためのお知らせ（継続周知）

本年7月31日（土）に海の事故ゼロキャンペーンは終了しますが、令和3年7月16日（金）～8月31日（火）までの間、プレジャーボート運航者、マリンアクティビティ愛好者などのマリンレジャー活動者や遊泳者の安全意識の向上とマリンレジャーに伴う事故及び死亡・行方不明者の減少を図ることを目的とした「夏季安全推進運動」を実施中です。

#### 5. 関係資料等参考リンク

走錨防止ポータルサイト

URL：<https://www.kaiho.mlit.go.jp/mission/kaijyoukoutsu/soubyo.html>



遊泳中の事故防止に関する資料はこちら

URL：<https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/data/yuueityuunojikoboushi.pdf>



SUPの事故防止に関する情報はこちら

URL：<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/sup/>



釣り中の事故防止に関する情報はこちら

URL：<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/fishing/>



海の安全情報 海の事故防止対策 ～海の事故ゼロを目指し～  
各種安全情報はこちらから

URL：<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku.html>



第七管区海上保安部管内の詳しい海難・人身事故統計はこちらから

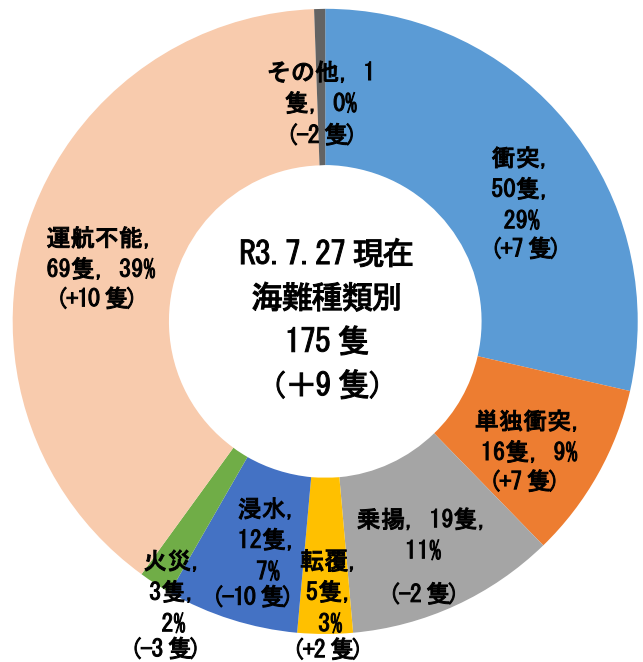
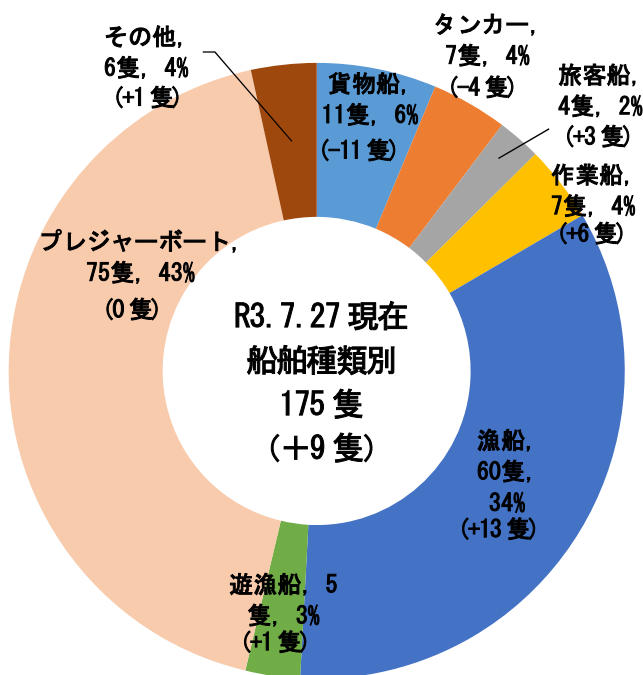
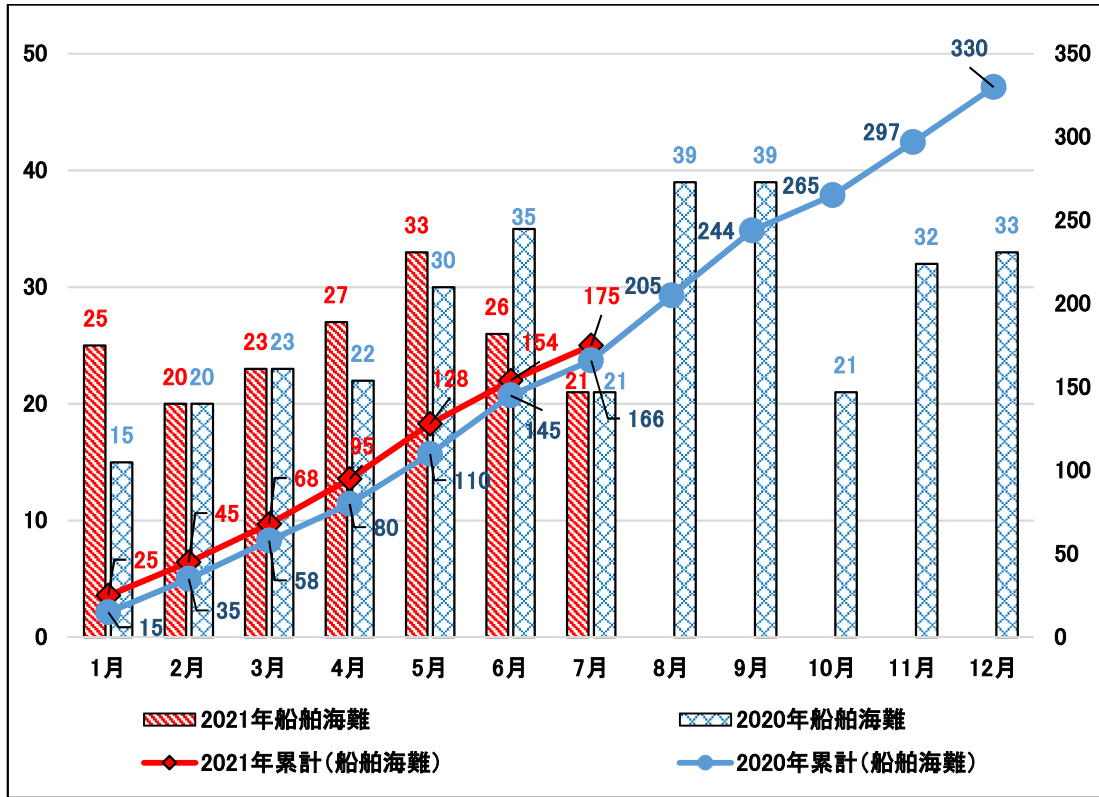
URL：<https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kaiko/anzentaisaku/kainan/kainannogenkyoutotaisaku.pdf>



※参考資料（括弧内は前年比）

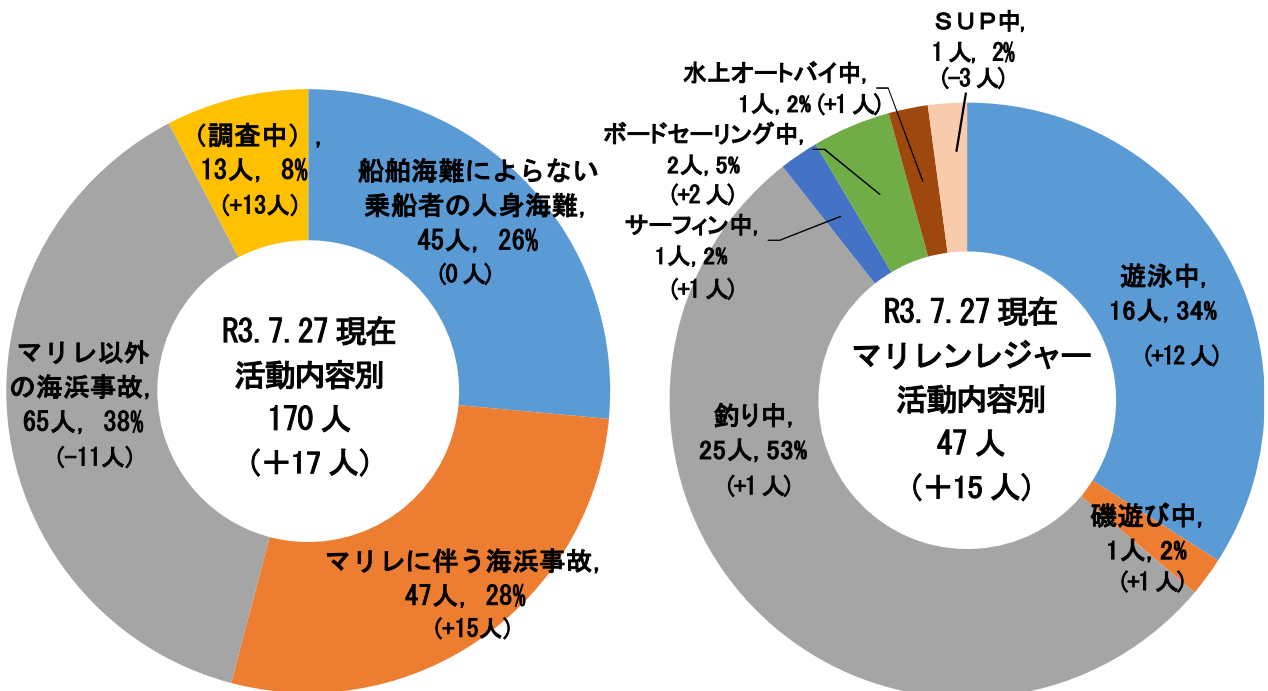
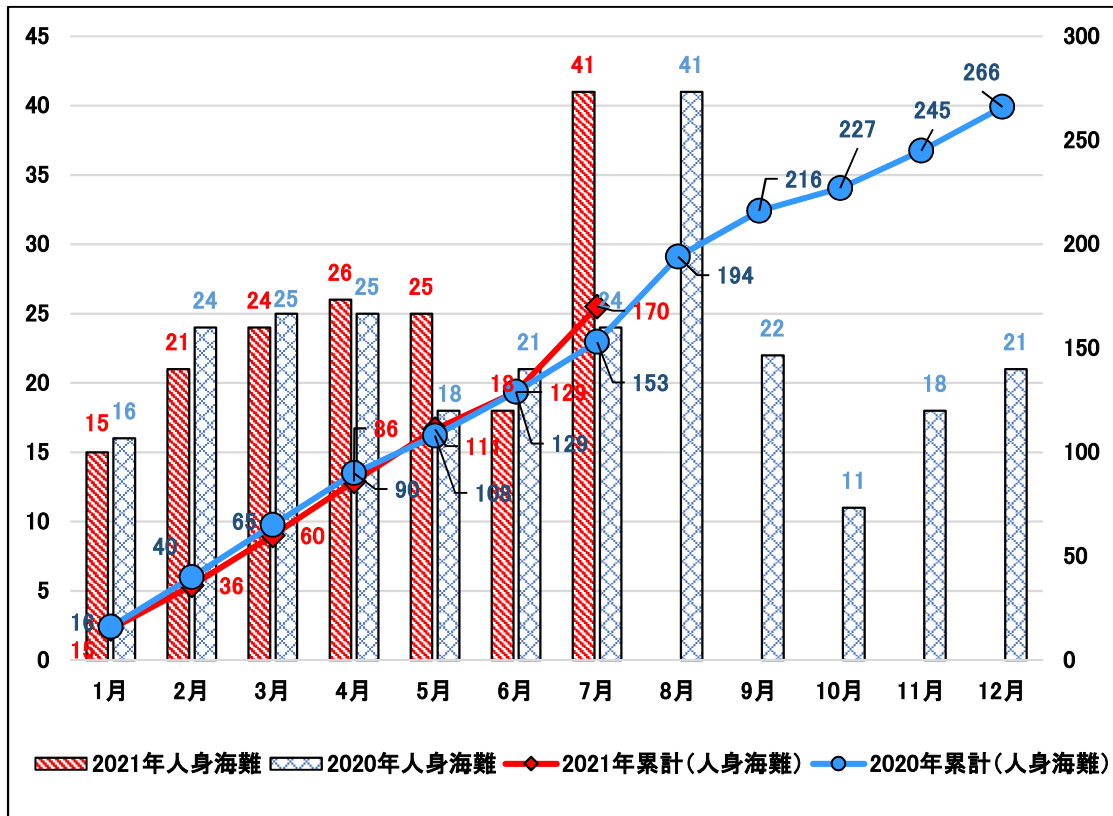
【船舶海難】（第七管区海上保安本部管内・令和3年1月1日（金）～7月27日（火））

（隻）





【人身海難】(第七管区海上保安部管内・令和3年1月1日(金)～7月27日(火))  
(人)



**【県別発生状況】**

(第七管区海上保安部管内・令和3年1月1日(金)～7月27日(火))

**船舶海難の県別集計表** (括弧内はミニボート数)

(隻)

	福岡	山口	佐賀	長崎	大分
遊漁船	1			1	
漁船	1				1
プレジャーボート	3 (2)	1	1 (1)	1	
旅客船				1	

**人身事故の県別集計表**

(人)

	福岡	山口	佐賀	長崎	大分
船舶海難によらない乗船者の人身事故		1			
マリンレジャーに伴う海浜事故	2	1	1	5	1
マリンレジャー以外の海浜事故		2			1

【問い合わせ先】

第七管区海上保安本部 警備救難部  
警備課 課長補佐 中根 嘉仁  
TEL 093-321-2931 (内線 3111)



令和3年7月29日  
第七管区海上保安本部

## 東京五輪・パラ開催期間中 東京港行きフェリーでテロ警戒を実施

第七管区海上保安本部では、東京五輪・パラ開催期間中、北九州発東京港フェリーターミナル行きのフェリーに海上保安官が乗船し、テロ警戒（フェリー警乗）を実施します。

東京港フェリーターミナルは、東京五輪・パラの競技会場が周辺に多く位置しております。

その東京港フェリーターミナルを発着するフェリーは、全国的にも北九州を発着（徳島経由）するフェリーしかなく、特に重点的にテロ警戒を実施します。

あわせて同期間中、管内各所のフェリーターミナルについても警戒を実施します。

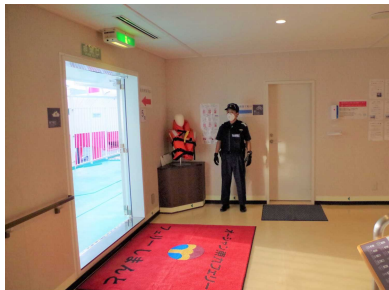
### 1 期間

東京五輪・パラ開催期間中に不定期で実施します。

### 2 対象

基本的には東京港を発着するフェリーを対象としておりますが、他のフェリーに対しても警乗を実施する場合があります。

### 3 これまでの実施状況



乗船時の警戒



船内の不審物検索



航行中船内の巡視警戒







問い合わせ先  
第七管区海上保安本部  
総務部人事課長 中田 健一  
TEL 093-321-2931(内線 2130)

令和3年7月29日  
第七管区海上保安本部

## 「海の日」国土交通大臣表彰等の実施について ～海上保安関係の海事関係功労者表彰～

令和3年7月28日(水)、プレミアムホテル門司港(北九州市所在)において、海事関係事業で功労のあった方々への表彰式が執り行われました。

海上保安庁では、例年「海の日」に併せ、海難救助や海難防止活動、海上環境の保全、海上保安思想の普及など、多年にわたり海上保安業務に貢献・精励された方を表彰しております。

第七管区海上保安本部関係者では、国土交通大臣表彰2名、海上保安庁長官表彰16名、第七管区海上保安本部長表彰27名の計45名が表彰されました。

### 表彰式の状況



国土交通大臣表彰  
海上保安協会三池支部長 西田 晴征 様



第七管区海上保安本部長表彰  
福岡県水難救済会理事 末永 慶次 様

## ○ (公財)海上保安協会

公益財団法人海上保安協会は、昭和24年8月に設立されて以来、海上の安全及び治安の確保を図る海上保安活動に関する事業を行うことにより、安全で安心な社会の実現に寄与し、併せて海上保安活動に関係する者の福祉を増進することを目的としています。この目的を達成するために、公益事業として「海上保安活動に係る普及啓発」「海上における防犯、安全の確保及び環境の保全」「海外海上保安関係機関との連携、協力」「海上保安活動に係る調査研究」等を行っています。

## ○ 海上保安協力員

海上保安業務への深い理解と積極的な協力が得られるボランティア精神旺盛な一般の方を「海上保安協力員」として、全国の(公財)海上保安協会支部に配置しています。海上保安協力員はそれぞれの地域に密着し、「海浜等防犯パトロール、マリナー等の巡回」「海上防犯、海洋汚染発見時の通報」「海事、漁業関係者や一般市民への海上防犯及び海洋環境保全思想の普及・啓発活動」を行い、海上犯罪が発生しにくい環境の醸成、海洋環境保全思想の普及・啓発を図ることを目的として活動しています。

## ○ 水難救済会

水難救済会は、沿岸海域で遭難した人や船の救助に駆けつける民間ボランティア団体です。全国津々浦々に設置されている約1,300カ所(七管内207カ所)の救難所・救難支所に所属している民間ボランティア救助員(“海の救難ボランティア”)は、海難が発生した際には、海上保安部署等の要請に応じて、荒天暗夜もいとわず救助活動に勤しんでいます。ボランティア救助員の多くを漁業関係者が占めますが、最近では、マリナーやプレジャーボートなど各種レジャー関係者の入会も多くなってきました。

## ○ 海上保安友の会

海上保安友の会は「安全で明るく美しい海をいつまでも」をモットーに、海上保安官の仕事について理解を深めて頂くとともに、海を愛する方々が集い、会員相互の親睦や海上保安官との交流を通じ、もっと海を好きになろうという趣旨の会です。会員になりますと、海上保安庁の業務を紹介したパンフレット、海上保安新聞など情報誌の配布を受けることができ、海上保安庁の行う各種行事に参加することができます。

## 令和3年「海の日」表彰者一覧（七管関連）

## ◎国土交通大臣表彰

## ○関係公益法人等役職員（個人）

職名	氏名(年齢)	功績概要
海上保安協会 三池支部 支部長	にしだ はるゆき (77歳) 西田 晴征	平成9年6月に公益財団法人海上保安協会三池支部幹事就任を経て、平成20年6月に同支部支部長に就任、以来、永きに亘り海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 長崎支部 支部長	さきなが つよし (78歳) 崎永 剛	平成15年7月に公益財団法人海上保安協会長崎支部監事就任を経て、平成22年7月に同支部支部長に就任、以来、永きに亘り海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した

## ◎海上保安庁長官表彰

## ○水難救済会救難所等(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
長崎県水難救済会 大島村救難所長	はまべ あきら (63歳) 浜辺 晃	平成11年3月に長崎県水難救済会大島村救難所長に就任以来、20年以上の永きに亘り、海上における人命財産の救護に尽力した

## ○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
元 福岡県水難救済会 理事	いのうえ きよし (85歳) 井上 清	平成15年4月から令和2年5月までの間、福岡県水難救済会理事として、18年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
元 福岡県水難救済会 理事	なかにし としゆき (80歳) 中西 利之	平成12年4月から令和2年5月までの間、福岡県水難救済会理事として、20年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
福岡県水難救済会 副会長	なかにし としひろ (67歳) 仲西 利弘	平成18年4月に福岡県水難救済会理事就任を経て、平成28年4月に同会副会長に就任、以来、15年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
佐賀県水難救済会 理事	かわぐち やすのり (62歳) 川口 安教	平成17年6月に佐賀県水難救済会理事に就任以来、16年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
海上保安協会 福岡支部 監事	たにぐち としゆき (67歳) 谷口 利幸	平成18年6月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 阿武荻支部 会計幹事	なかむら ようじ (72歳) 中村 洋治	平成18年5月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 阿武荻支部 幹事	くはら たかよし (73歳) 久原 隆義	平成18年7月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 五島支部 幹事	きよたき せいし (81歳) 清瀧 誠司	平成18年6月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 門司支部 事務職員	みぞじり ときこ (68歳) 溝尻 登喜子	平成13年4月に公益財団法人海上保安協会の事務職員に採用されて以来、20年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した

○海上保安活動協力者(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
海上保安協力員	えじま かつまさ (76歳) 江島 勝正	平成18年4月から海上保安協力員として、15年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した
海上保安協力員	くらもと やすまさ (56歳) 藏本 康正	平成18年4月から海上保安協力員として、15年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した
海上保安協力員	いけがみ こうじ (45歳) 池上 幸司	平成17年4月から海上保安協力員として、16年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した

○海難防止協力者(個人)

佐世保地区小型船安全協会 海上安全指導員	たむら とよとし (79歳) 田村 豊年	平成18年5月に海上安全指導員に指名され、以来、15年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長門地区小型船安全協会 海上安全指導員	いわさき のぼる (74歳) 岩崎 昇	平成17年11月に海上安全指導員に指名され、以来、15年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長門地区小型船安全協会 海上安全指導員	はまもと くにはる (70歳) 濱本 邦治	平成17年11月に海上安全指導員に指名され、以後、15年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

◎第七管区海上保安本部長表彰

○水難救済会救難所等(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
福岡県水難救済会 芦屋救難所長	なかにし たかお (79歳) 中西 隆雄	平成18年4月に福岡県水難救済会芦屋救難所長に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上における人命財産の救護に尽力した
山口県水難救済会 埴生救難所長	おおさき すずむ (88歳) 大崎 進	平成17年8月に山口県水難救済会埴生救難所長に就任以来、15年以上の永きに亘り、海上における人命財産の救護に尽力した
長崎県水難救済会 平戸救難所長	やまなか ひょうえ (74歳) 山中 兵恵	平成14年4月に長崎県水難救済会平戸救難所長に就任以来、19年以上の永きに亘り、海上における人命財産の救護に尽力した
福岡県水難救済会 大岳救難所救助員	とくのう たかし (36歳) 得能 崇司	平成23年4月に福岡県水難救済会大岳救難所の救助員に所属以来、所属救難所の出動要請に積極的に応じ、海上における人命財産の救護に尽力した
長崎県水難救済会 野母崎救難所救助員	みやもと いずみ (77歳) 宮本 泉	平成16年4月に長崎県水難救済会野母崎救難所の救助員に所属以来、所属救難所の出動要請に積極的に応じ、海上における人命財産の救護に尽力した

○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
福岡県水難救済会 副会長	いず みさこ (62歳) 伊豆 美沙子	平成28年4月に福岡県水難救済会の副会長に就任以来、5年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
佐賀県水難救済会 副会長	とくなが しげあき (73歳) 徳永 重昭	平成27年5月に佐賀県水難救済会の副会長に就任以来、6年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
福岡県水難救済会 理事	すえなが けいじ (73歳) 末永 慶次	平成22年4月に福岡県水難救済会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した



佐賀県水難救済会 理事	さかもと やすのり 坂本 安則	(67歳)	平成22年6月に佐賀県水難救済会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
長崎県水難救済会 理事	とだ めぐみ 戸田 恵	(75歳)	平成23年4月に長崎県水難救済会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
長崎県水難救済会 理事	なかぐま とみきち 中熊 富吉	(86歳)	平成23年4月に長崎県水難救済会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
長崎県水難救済会 理事	にのみや まさひこ 二宮 昌彦	(63歳)	平成21年6月に長崎県水難救済会の役員に就任以来、12年以上の永きに亘り、水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
海上保安協会 壱岐支部 幹事	かみむら よう 上村 陽	(57歳)	平成18年5月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 五島支部 幹事	さかもと こうじ 坂本 幸二	(58歳)	平成23年6月に公益財団法人海上保安協会の役員に就任以来、10年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 五島支部 事務職員	さこ みゆき 窄 幸	(42歳)	平成16年10月に公益財団法人海上保安協会の事務職員に採用されて以来、16年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
九州北部小型船安全協会 副会長	ひろせ ひでき 廣瀬 英樹	(72歳)	平成23年5月に九州北部小型船安全協会理事就任を経て、平成30年5月に同協会副会長に就任、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

#### ○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
海上保安友の会 七管支部 会長	いず みさこ 伊豆 美沙子	(62歳) 平成26年7月に海上保安友の会七管支部の役員に就任し、平成28年4月に同支部の会長に就任、5年以上の永きに亘り、海上保安思想の普及啓蒙に尽力した

#### ○海上保安活動協力者(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
海上保安協力員	いそべ くにお 磯部 国雄	(83歳) 平成21年4月から海上保安協力員として、12年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した
海上保安協力員	あやか りょういち 綾香 良一	(73歳) 平成12年4月から海上保安協力員として、21年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した
海上保安協力員	まえだ ひろつぐ 前田 博嗣	(59歳) 平成21年4月から海上保安協力員として、12年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した
海上保安協力員	まつお ともあき 松尾 智晃	(55歳) 平成21年4月から海上保安協力員として、12年以上の永きに亘り、海洋環境の保全や海上防犯に関する啓発活動に尽力した

#### ○海難防止協力者(個人)

九州北部小型船安全協会 海上安全指導員	やない ひさのり 柳井 久則	(65歳) 平成23年5月に海上安全指導員に指名され、以来、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
有明海小型船安全協会 海上安全指導員	とくぶち のりひこ 徳淵 憲彦	(74歳) 平成22年10月に海上安全指導員に指名され、以来、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

有明海小型船安全協会 海上安全指導員	きはら かつみ 木原 克実	(69歳)	平成19年4月に海上安全指導員に指名され、以後、14年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長崎地区小型船安全協会 海上安全指導員	せと つとむ 瀬戸 勉	(73歳)	平成23年4月に海上安全指導員に指名され、以来、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長崎地区小型船安全協会 海上安全指導員	なかざと みのる 中里 稔	(77歳)	平成23年4月に海上安全指導員に指名され、以来、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
宇部地区小型船安全協会 海上安全指導員	なかお やすし 中尾 靖志	(54歳)	平成23年7月に海上安全指導員に指名され、以後、10年以上の永きに亘り、海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した